



LIXIL



施工説明動画



現調説明動画

リプラス 引違い窓 現場調査キット(外付用)

使用説明書

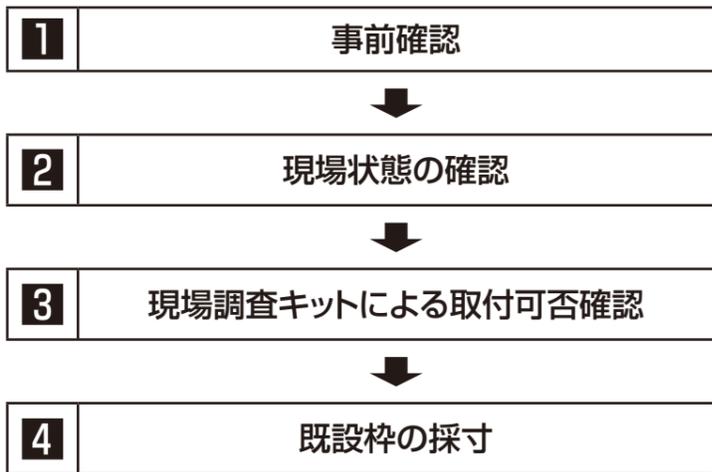
SK5000 01 2018.05.20発行

現場調査キット内容明細表

番号	目的	略図	単体枠	雨戸付枠	シャッター付枠
④	雨戸用枠・シャッター用枠取付可否		-	○	○
⑤	アングルカバー・見切材取付可否		○	○	○
⑥	上枠取付ベース材・下枠レベル調整付土台取付可否		○	○	○
⑦	下枠内レールアタッチ(大)取付可否		○ ※1	○ ※1	○ ※1
⑧	縦枠取付ベース材取付可否		○	○	○

※1 下枠内レールが下枠上端より深い場合に使用
※2 施工時の気密テープ張付け範囲のケガキに使用できます。

現場調査工程概要



取付可否の確認

1 事前確認

■ 躯体構造の確認

木造、RC造、ALC造、鉄骨造(3階以下)の住宅用サッシが対象

■ 設置場所の確認

浴室にはご使用いただけません。

2 現場状態の確認

■ 既設枠の状態確認

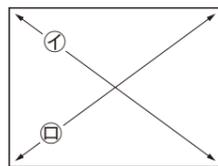
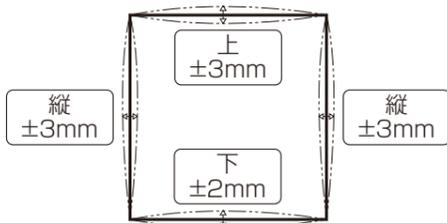
リプラスは既設枠を利用して取付けます。既設枠にグラツキやガタツキが無いことを確認してください。

- ・ 枠の変形などにより障子脱落のおそれがあります。
- ・ 障子開閉時に異音が発生する原因となります。既設枠に起因する障子開閉時の異音は、リプラスを設置しても解消されないことがあることをお施主さまにご説明ください。

■ 既設枠の採寸

各辺のたわみがそれぞれ下図の範囲内であることを確認してください。

既設サッシの対角寸法を測定し、対角寸法の差が3mm以下であることを確認してください。



対角寸法の差が±3mm以下である。

■ 既設窓種類の確認

既設窓種類	確認項目	可否
引違い窓	防火窓	×
	単体サッシ	○
	連窓・段窓(ランマ付含む)	×
	二重サッシ	×
	雨戸付サッシ	○
装飾窓	シャッター付サッシ(電動シャッター付サッシを除く)	○
	全て	×

■ 納まりの確認

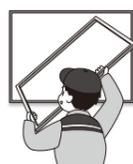
内付	×
半外付	×
外付	○

■ 既設サッシレールの確認

レール形状	上枠レール式	上枠ドブ溝式	下枠階段レール	下枠フラットレール	下枠3本レール
対応可否	○	×	○	×	×

■ 周辺の確認(室内側施工の場合)

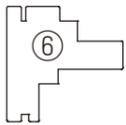
組立てた新設枠を外に振り出す作業が発生します。そのため、新設枠のH寸法、W寸法の長い方の長さだけスペースが必要です。現場の既設サッシを外押えの寸法で測り、スペースを確認してください。



※HWの寸法差が50mm以内の場合は、室外側からの新設枠建込みになります。

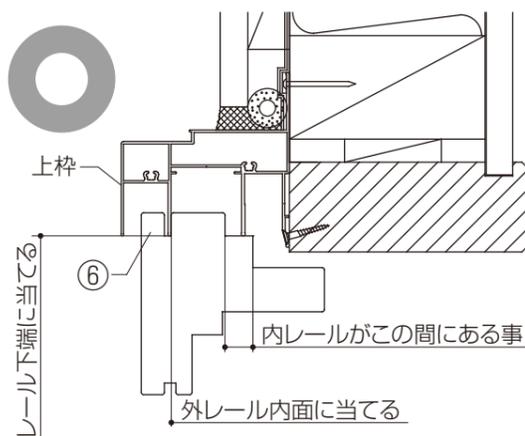
3 現場調査キットによる取付可否確認

●使用するプレート



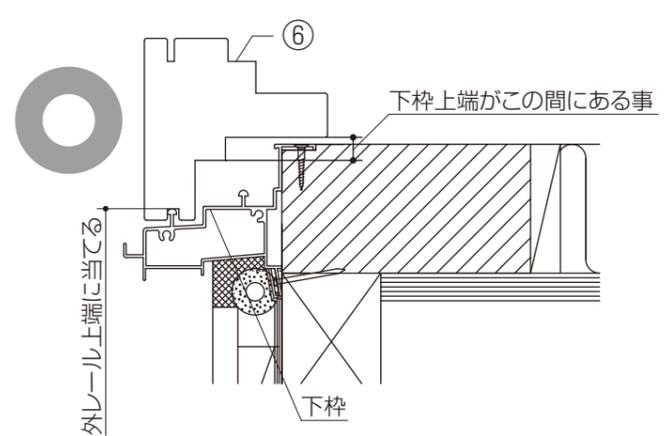
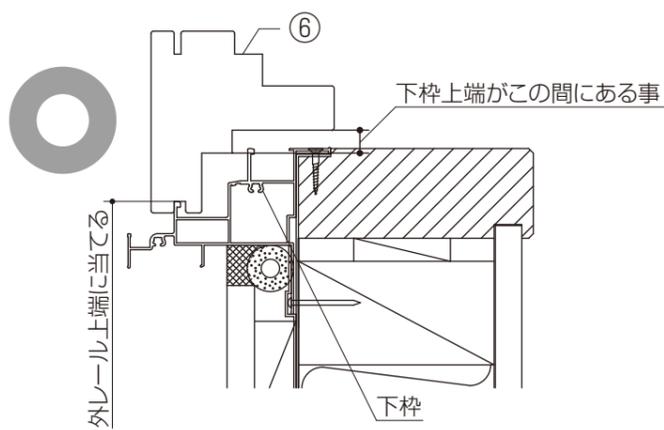
①上枠取付ベース材の取付可否

図のように⑥のプレートを当て、内レールが範囲内であれば取付可です。
(レール芯々寸法が25～35mmであれば取付可です。)



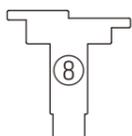
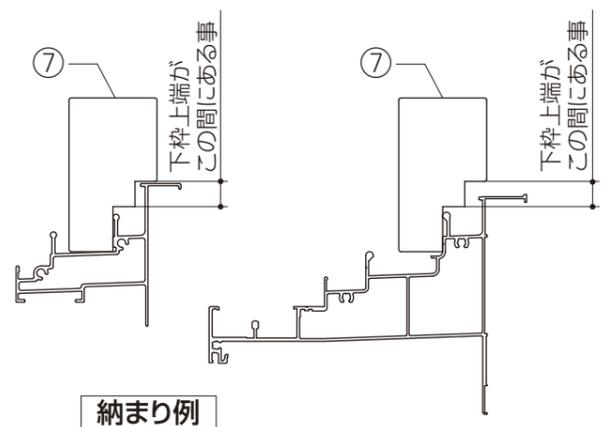
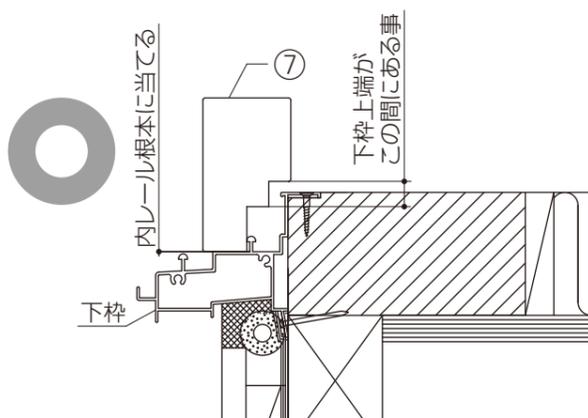
②下枠レベル調整付土台の取付可否

図のように⑥のプレートを当て、下枠上端が範囲内であれば取付可です。
(外レール上端から下枠上端が21～31mmであれば取付可です。)



③下枠内レールアタッチ大の取付可否(下枠内レールが下枠上端より深い場合)

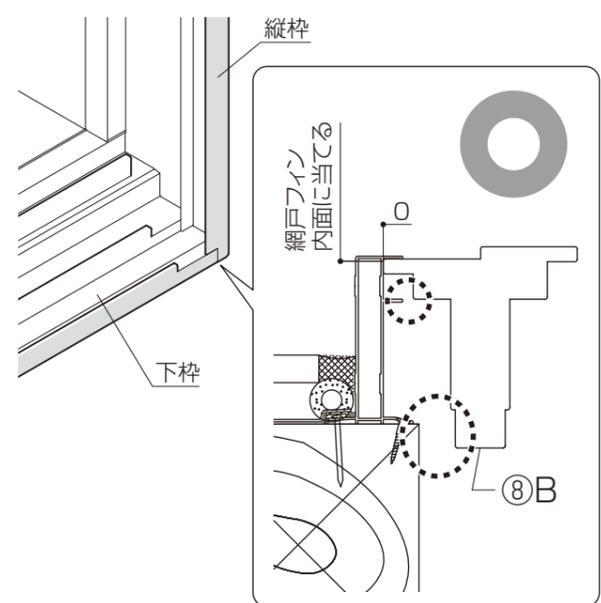
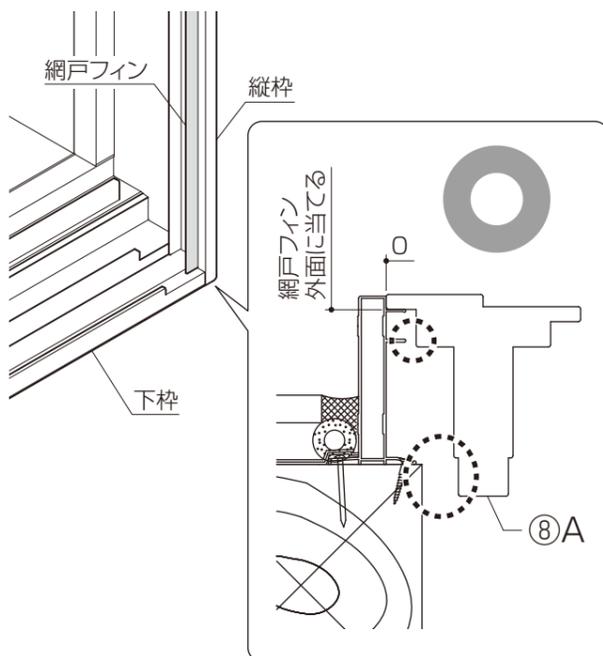
図のように⑦のプレートを当て、下枠上端が範囲内であれば取付可です。
※内レール上端が下枠上端と同面の場合は確認不要です。



④縦枠取付ベース材の取付可否

図のように⑧のプレートを当て、縦枠・窓枠に干渉しなければ取付可です。

(縦枠網戸フィンが上下枠と同面の場合)





⑤新設雨戸・シャッター用枠の取付可否

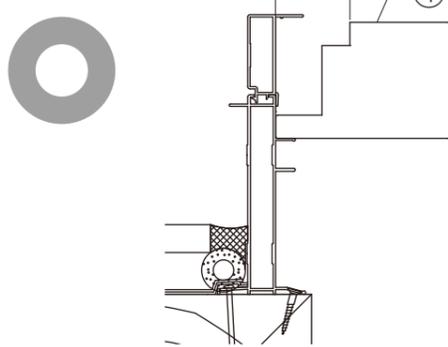
図のように④のプレートに当て、縦部材の飛び出しが範囲内であれば、新設枠の建て込みが可能です。

※単体は確認不要です。

■雨戸付枠

(戸当り面からの縦部材の飛び出しが32mm以下であれば取付可能です。)

縦部材の飛び出しがこの間にある事

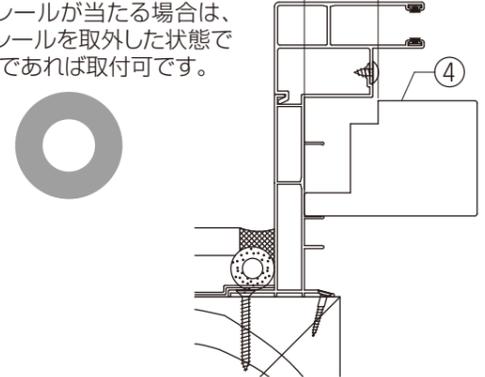


■シャッター付枠

(戸当り面からの縦部材の飛び出しが32mm以下であれば取付可能です。)

縦部材の飛び出しがこの間にある事

ガイドレールが当たる場合は、ガイドレールを取外した状態で範囲内であれば取付可能です。



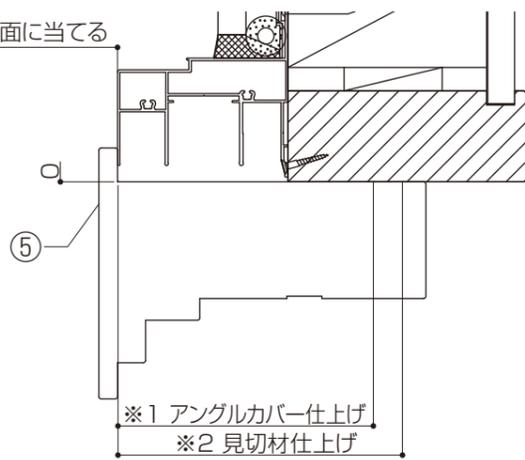
※範囲外の場合は、新設サッシW寸法を小さくして対応できる場合があります。詳細はカタログの採寸ページを参照してください。

⑥アングルカバー、見切材の取付可否

<見込み> 図のように⑤のプレートに当て、既設窓枠にアングルカバー取付け面があるか(※1)、見切材取付け面があるか(※2)、確認してください。

■上枠

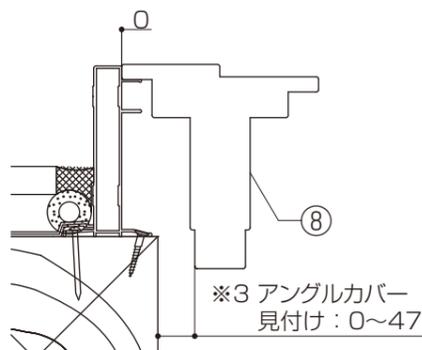
網戸レール外面に当てる



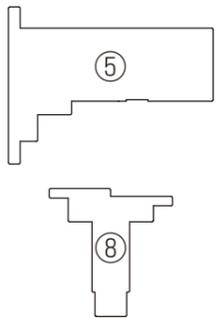
※1 アングルカバー仕上げ
※2 見切材仕上げ

<見付け> 窓枠まで段差が深い場合は、アングルカバー見付けが足りるか(※3)確認してください。

■縦枠



※3 アングルカバー
見付け：0~47



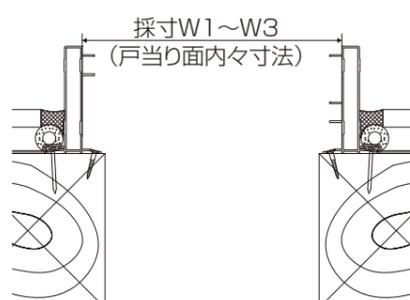
4 既設枠の採寸

採寸①. 既設サッシの内々寸法(3カ所)採寸W1~W3、採寸H1~H3を採寸の上、最小値を採寸W、採寸Hとしてください。

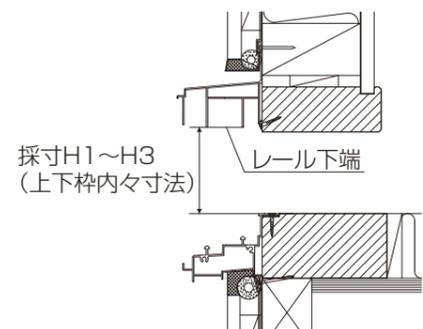
■測定箇所(開口正面イメージ)



■採寸Wの測定箇所(横断面図)



■採寸Hの測定箇所(横断面図)



■施工時間の短縮ポイント

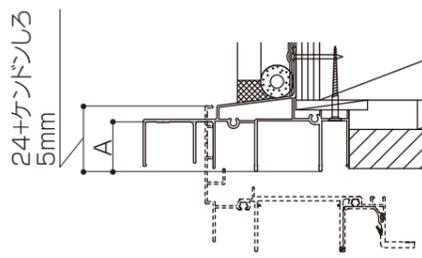
■新設枠のカット

リプラス枠は既設上下枠の網戸レール外面を基準面にして取付けるため、既設枠が雨戸付・シャッター付の場合、新設枠のカットが必要になります。(納まりにより単体枠も該当します。)

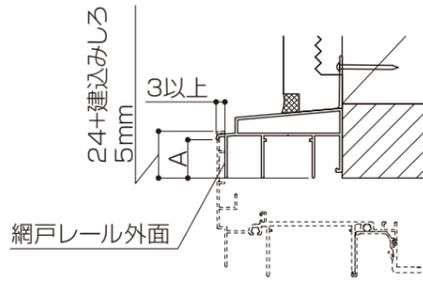
既設枠の下図の個所を採寸しておくことにより、事前にカットすることが可能になります。

[カットが必要な場合]

上枠：カット寸法 $a=29-A$ mm

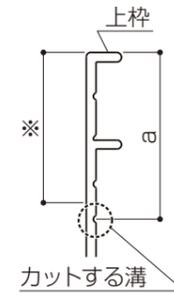


i) Aが29未満の場合



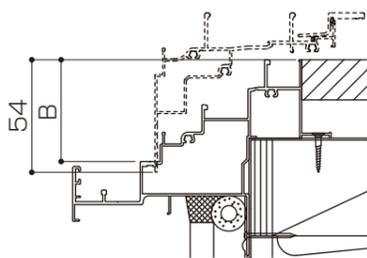
ii) 上下枠網戸レール外面から3mm以上のリップがある場合

(例)



※29-Aの値が、溝の間のときは下の溝でカットしてください。

下枠：カット寸法 $b=54-B$ mm

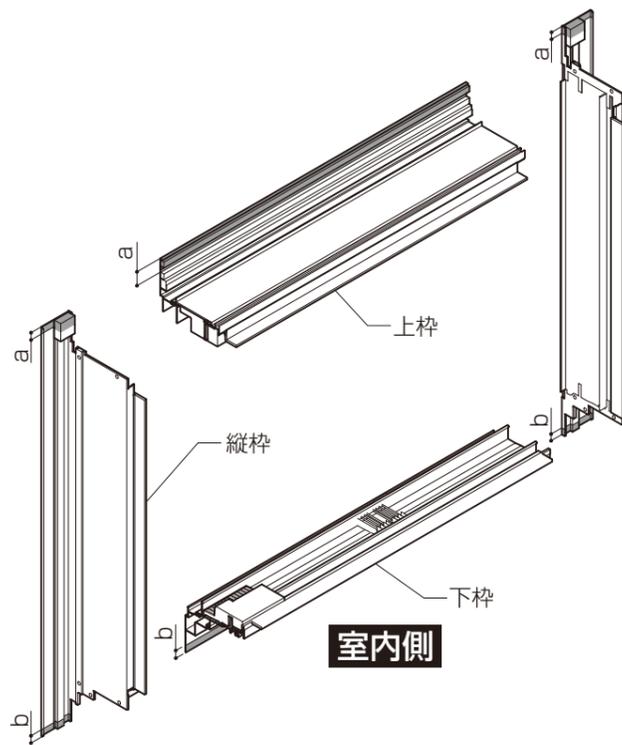


i) Bが54未満の場合

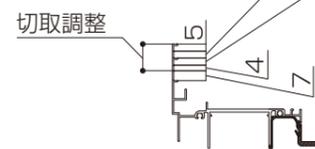
(例)



※54-Bの値が、溝の間のときは上の溝でカットしてください。



上枠



下枠

